



**問** 県政要望での発言について、市長に意図を問う

令和6年8月22日、伊勢新聞が「中空アクセス航路に支援を 津市長が要望、知事難色」と報じた。記事によると、市長は「運輸省出身の知事にとっても、航路がなくなればえらいことになる」と書かれているが、えらいこととは何か。脅しではないか。

**答** 市と共に国へ働きかけてほしいという趣旨で発言した

津エアポートラインは、平成17年に津なぎさまちが開港した頃から、県からも支援を受けて高速船を運航してきたが、非常にハードルの高い話を今後大きな力で進めていくに当たり、市に寄り添っていただきたいという趣旨で発言した。

今回の要望では、航路がなくならないよう国の補助を頂けないか県からも働きかけてほしいとお願いするもので、現在、離島航路を対象としている離島航路運営費等補助金については、制度改正を行い、離島航路以外も補助対象とするよう、共に働きかけてほしいとの旨を知事に要望した。

その他の質疑・質問

- 北方領土について
- 内部統制室について

津なぎさまちと中部国際空港を結ぶ高速船



**問** 津駅西口駅前広場の再整備について、今後の方向性は

8月1日の市長定例記者会見で、津駅西口駅前広場の整備イメージに対する意見募集の結果を踏まえた配置計画案(Ver.2)が示された。一般車両の配置や公共交通の配置の在り方など、解決すべきさらなる課題に対応すべく、検討が進められていると思うが、津駅西口駅前広場の再整備に向けて、どのように市民の意見を受け止め、今後どのように取り組んでいくのかを問う。

**答** 利用者の目線を大切にしながら計画を進めていく

配置計画案(Ver.2)は、津駅西口駅前広場の整備イメージに対していただいた、一般車両の送迎スペースや待機場所の不足など389件のご意見を踏まえて示したものである。今後、アップデートしたイメージ図を出して意見を募集した上で、駅利用者や市民の皆さまから意見を聞きながら適宜修正を加え、令和6年度末に基本計画を策定し、令和7年度から詳細設計に着手し、令和8年度の工事着手を目指す。

市民の皆さまが50年間使ってきた津駅西口駅前広場を次の時代にどうしていくのかを、利用者の目線を大切にしながら考え、計画を進めていく。

その他の質疑・質問

- 大規模災害への消防指令センターの取り組みは
- 迷惑空き地に関する相談状況とその対応は
  - 実効性のある制度設計を求める
- タクシー不足による新たな交通施策への影響は
  - 予約が困難なケースへの改善の取り組みは
- 前立腺がんについて津市の検診の実施状況は
  - 早期発見・早期治療に結び付く取り組みを

混雑による危険な状態の解消と安全対策が求められる津駅西口駅前広場の整備イメージ

